

トライアルに向けた WEB版の進捗状況について

**薬学教育協議会
WEBシステム検討委員会
委員長 木津純子**

実務実習におけるWEBシステム

- 全国で複数の実務実習WEBシステムが使用されている
- 使用するWEBシステムについて統一している地域もあるが、各大学で決めたWEBシステムを混在して使用している地域もある
- 異なる大学からの実習生を受け入れている実習施設からは、違うシステムを同時に使用せねばならず統一して欲しいという声大きい
- 改訂モデル・コアカリキュラムに準拠したWEBシステムについて検討する必要がある



WEBシステム検討委員会を設置

WEBシステム検討委員会の設置

- 2015年7月 薬学教育協議会にWEBシステム検討委員会を設置
- 委員
 - 伊東明彦 (関東地区調整機構委員長)
 - 橋詰 勉 (近畿地区調整機構委員長)
 - 石井伊都子 (日本病院薬剤師会)
 - 永田泰造 (日本薬剤師会)
 - 鈴木 匡 (薬学実務実習に関する連絡会議)
 - 宮崎 智 (東京理科大学)
 - 望月正隆 (薬学教育協議会)
 - 阿刀田英子 (薬学教育協議会)
 - 須田晃治 (薬学教育協議会)
 - 木津純子 (薬学共用試験センター)
- 委員会 7回の委員会、2回の説明会を開催

WEBシステム検討委員会での検討事項

- 改訂モデル・コアカリキュラムにおける実務実習においては、大学と施設の連携、薬局実習と病院実習の連続性、OBEの評価等が重要となる。この実務実習を支援するWEBシステムについて検討する
- 薬学教育協議会がシステムを構築することはできないが、使用するWEBシステムを一本化することを提案するのも適切でない
- 各システムの入口画面、搭載項目等をできるだけ統一し、使用する際の違和感をできるだけ減らす
- 搭載すべき項目については、各大学、各薬剤師会、各病院薬剤師会にアンケートを実施して決定する
- 開発企業には費用負担が大きくならないように依頼する

アンケート調査の実施

全薬科大学・薬学部、地域薬剤師会・病院薬剤師会を対象に、WEBシステムに最小限搭載すべき機能、搭載が望まれる機能についてアンケート調査



70大学、57薬剤師会・病院薬剤師会から回答

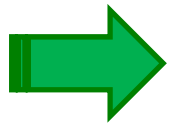


回答結果については、日本薬学会第136年会で報告した後ホームページに掲載し、パブリックコメントを募集

開発大学・開発企業への説明会

- アンケート調査を基にした搭載すべき項目等についてWEBシステム開発大学、開発企業を対象に説明会を開催
- 入口画面、学生プロフィール等の画面等を例示
- 必須項目を提示（独自の機能をプラスするのは可）
- 開発企業には、費用負担が大きくなならないよう依頼（予算申請などを考慮し2017年7月を目途に算出）
- 構築されたシステムについて、薬学教育協議会が確認

- ◆ 第1回説明会（2016年7月26日）
画面、搭載項目、費用等について説明
- ◆ 第2回説明会（2017年6月12日）
実施計画書、評価方法について説明



各学生のトップページ（学生のログイン直後のGUI）

学生情報			実習施設			
学生氏名	ふりがな	性別	薬局		病院	
薬学 恵	やくがく めぐみ	男	名称	東京薬局	名称	日本病院
所属大学名	慶應義塾大学		住所	千代田区一番町1-1	住所	千代田区霞が関1-1
学籍番号	12345678		電話	03-1111-1111	電話	03-2222-2222
担当教員名	日本 花子		担当薬剤師名	北海 道夫	担当薬剤師名	沖 縄一

学生プロフィール編集・更新

実務実習実施計画

実習日誌

振り返りレポート

出欠登録
(スケジュール)

到達度評価

メール・伝言

実習日: 2018年6月15日

出欠管理:

出席 欠席 遅刻 早退 コメント (10時に到着し、18時まで実習)

欠席、遅刻、早退の理由を選択

病気 怪我 忌引 公共交通機関の遅れ その他 ()

SBOs:

実習内容 【実習したこと、調べたこと、考えたことを文章で記載】

指導薬剤師のコメント

キャンセル

保存

学生に関する情報・プロフィール

学生に関する情報

学生氏名、学籍番号、性別、連絡先、所属大学名、学籍番号、所属講座名、実務実習担当教員名、実習期、実習施設名、実習施設住所・電話番号、指導薬剤師名

学生プロフィール

1.自己紹介文

①自己紹介、②4年次までの学習（好きな分野、卒業研究のテーマ）、③将来の希望、④目指す薬剤師像など

2.自己の実習目標

指導薬剤師からのコメント

担当教員からのコメント

メール機能（伝言機能）

1. メールを書く：メール宛先のソート検索機能
2. 返信する：cc機能
3. 送受信履歴が確認できる
4. 一斉メールの送信機能
5. メールの転送機能
6. 資料の添付機能：PDFのみ、複数可

実習日誌

学生情報			実習施設			
学生氏名	ふりがな	性別	薬局		病院	
薬学 恵	やくがく めぐみ	男	名称	東京薬局	名称	日本病院
所属大学名	慶應義塾大学		住所	千代田区一番町1-1	住所	千代田区霞が関1-1
学籍番号	12345678		電話	03-1111-1111	電話	03-2222-2222
担当教員名	日本 花子		担当薬剤師名	北海 道夫	担当薬剤師名	沖 縄一

学生プロフィール編集・更新

実務実習実施計画

実習日誌	振り返りレポート	出欠登録 (スケジュール)	到達度評価	メール・伝言
------	----------	------------------	-------	--------

実習日: 2018年6月17日

出欠管理:

出席 欠席 遅刻 早退 コメント (10時に到着し、18時まで実習)

※欠席、遅刻、早退の理由を選択

病気 怪我 忌引 公共交通機関の遅れ その他 ()

SBOs:

実習内容 **【実習したこと、調べたこと、考えたことを文章で記載】**

指導薬剤師のコメント

キャンセル

保存

出欠欄

指導薬剤師
のコメント
欄は必須

【実習したこと、調べたこと、考えたことを文章で記載】と入れる

実習の出欠

◆ 1日単位の出欠表 ⇒ 実習日誌のトップに出欠欄

() 出席 () 欠席 () 遅刻 () 早退 コメント ()

※欠席、遅刻、早退の理由を選択

() 病気 () 怪我 () 忌引 () 公共交通機関の遅れ
() その他 ()

○時に到着し、△時まで実習など

◆ 出席・欠席の集計表 ⇒ 連動して一覧表が作成
(実習中に出欠状況を確認。最終の実施日数の確認)

コメント欄を反映

○○大学 学生氏名 () 実習先 ○○病院 実習期間 月 日 ~ 月 日		出席 52日 欠席 1日 遅刻 2日 早退 0日	指導薬剤師 印 																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>曜日</th> <th>出席</th> <th>欠席</th> <th>遅刻</th> <th>早退</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/14</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5/15</td> <td>火</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5/16</td> <td>水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5/17</td> <td>木</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>10時に到着し18時まで実習</td> </tr> <tr> <td>5/18</td> <td>金</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5/19</td> <td>土</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5/19</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	日付	曜日	出席	欠席	遅刻	早退	コメント	5/14		○					5/15	火	○					5/16	水	○					5/17	木			○		10時に到着し18時まで実習	5/18	金	○					5/19	土						5/19	日						<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>曜日</th> <th>出席</th> <th>欠席</th> <th>遅刻</th> <th>早退</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/25</td> <td>月</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/26</td> <td>火</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/27</td> <td>水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/28</td> <td>木</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/29</td> <td>金</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/30</td> <td>土</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/1</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	日付	曜日	出席	欠席	遅刻	早退	理由	6/25	月	○					6/26	火	○					6/27	水	○					6/28	木	○					6/29	金	○					6/30	土						7/1	日					
日付	曜日	出席	欠席	遅刻	早退	コメント																																																																																																											
5/14		○																																																																																																															
5/15	火	○																																																																																																															
5/16	水	○																																																																																																															
5/17	木			○		10時に到着し18時まで実習																																																																																																											
5/18	金	○																																																																																																															
5/19	土																																																																																																																
5/19	日																																																																																																																
日付	曜日	出席	欠席	遅刻	早退	理由																																																																																																											
6/25	月	○																																																																																																															
6/26	火	○																																																																																																															
6/27	水	○																																																																																																															
6/28	木	○																																																																																																															
6/29	金	○																																																																																																															
6/30	土																																																																																																																
7/1	日																																																																																																																

終了時に印刷。指導薬剤師に押印
↓
大学に提出

サポートサービス・セキュリティ

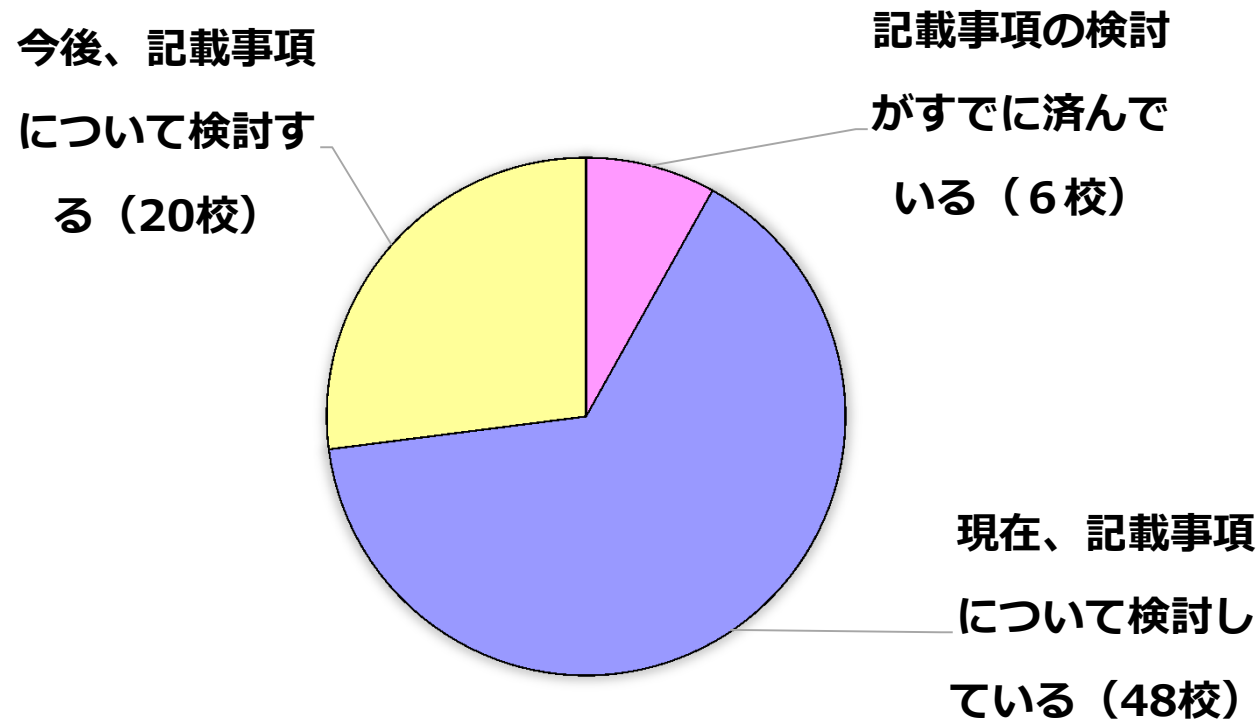
下記項目は必須

- ◆問い合わせ対応コールセンターあるいは問い合わせ対応窓口を明示
- ◆使用マニュアルの作成
- ◆セキュリティ対策（セキュリティレベルの内容を明示）

実務実習実施計画書

【具体的な検討状況】

薬学実務実習に関する連絡会議資料
(H29.11.21)



各大学のご意見

- ・ WEBシステムで対応予定である
- ・ WEBシステムに掲載される雛形を待って具体化する
- ・ WEBシステムに盛り込まれる内容に準ずる
などが多数

実務実習実施計画書

学生プロフィール欄とリンク

【実習生に関する情報】

1. 学生氏名
2. フリガナ
3. 性別
4. 学生の連絡先
5. 所属大学名
6. 学籍番号
7. 所属講座名
8. 担当教員名
9. 担当教員連絡先
10. 実習期間
11. 実習にあたり特に伝達が必要な特記事項

【大学での学習状況】

1. 大学での教育内容(特に臨床準備教育)の概略



PDFファイルを見られるように

2. 大学での学習で気づいた実習にあたり特に伝達が必要な特記事項

【実習の概要】

1. 薬局実習施設情報: 施設名、連絡先、指導薬剤師名、実習期間
2. 病院実習施設概要: 施設名、連絡先、指導薬剤師名、実習期間

学生プロフィール欄とリンク

3. 薬局と病院でのモデル・コアカリキュラムに準拠した実習内容



例)実習項目参照 PDFも見れるように

4. 大学、実習施設間での連携事項とその伝達(情報共有方法)

例)「本システムを利用」のボタンも可

【実習生評価方法】

例)「本システムに入力」のボタンも可

【大学、実習生から実習施設への要望】

大学

実習生

【その他】

振り返りレポート

振り返りレポート（ 週目） ○○大学 学籍番号（ ）氏名（ ）
この1週間で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習したこと（項目ごとに関わった日数等も記載）		
関わった疾患（ 処方解析・投薬計画等を実施した疾患等 ）とその人数		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他の疾患 []（ ）名、 []（ ）名、 []（ ）名
服薬指導を実施した疾患とその人数		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他（ ）名、（ ）名、（ ）名
理解	理解できたこと	
	理解できなかったこと	
実践	実践できたこと	
	実践できなかったこと	
今週できなかったことに対する改善策		
施設（指導薬剤師を含む）あるいは大学（担当教員を含む）に伝えたいこと		次施設の薬剤師も閲覧
指導薬剤師のコメント		

実習全体の振り返りレポート

実習全体の振り返りレポート ○○大学 学籍番号（ ）氏名（ ）
 この1週間で実習したことを書きで記入してください。

11週分のレポートの
 数を自動的に集計

実習したこと（項目ごとに関わった日数等も記載）		
関わった疾患（処方解析・投薬計画等を実施した疾患等）とその人数		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他の疾患 []（ ）名、 []（ ）名、 []（ ）名
服薬指導を実施した疾患とその人数		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他（ ）名、（ ）名、（ ）名
理解	理解できたこと	
	理解できなかったこと	
実践	実践できたこと	
	実践できなかったこと	
今週できなかったことに対する改善策		
施設（指導薬剤師を含む）あるいは大学（担当教員を含む）に伝えたいこと		
指導薬剤師のコメント		

次実習施設との連携

振り返りレポート

実習したこと		
関わった疾患（調剤した処方せん等の疾患等）		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他（ ）名、（ ）名、（ ）名
服薬指導を実施した疾患とその人数		がん（ ）名、高血圧症（ ）名、糖尿病（ ）名、心疾患（ ）名、脳血管障害（ ）名、精神疾患（ ）名、免疫・アレルギー疾患（ ）名、感染症（ ）名 その他（ ）名、（ ）名、（ ）名
理解	理解できたこと	
	理解できなかったこと	
実践	実践できたこと	
	実践できなかったこと	
今週できなかったことに対する改善策		
施設（指導薬剤師を含む）		

- ◆次施設の指導薬剤師が画面で見られるようにする
- ◆印刷機能を付加し、1週～11週および実習全体の振り返りレポートを印刷し、次施設に渡すことができる
- ◆学生ごとに保存できるようにする

評価について

- “薬学実務実習に関する連絡会議”作成の「薬学実務実習に関するガイドライン」（平成27年2月10日）に沿いOBEの考え方に基づいて評価
- 評価に関して結論が出ていない部分もあるが、WEBシステムを構築するには時間が必要
- 文部科学省から示された評価レベルの例示を基に、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会が作成した評価レベル案をシステムに搭載（いずれも文言は変更される可能性がある。2月末日までに最終案が提示される⇒全てのシステムに連絡）
- 中央調整機構において上記の方針を確認

WEBシステムには評価レベルとチェックポイントとしてSBOsが掲載されているのみ

到達度評価

*青字：評価レベルに基づいて評価

黒字：実務実習記録等で確認した日を入力

(1)薬学臨床の基礎	*臨床の心構え 臨床実習の基礎 →(1),(2),(3)の領域の評価に含まれる
(2)処方せんに基づく調剤	法令・規則等の理解と遵守 ⇒(1),(2),(3)の領域の評価に含まれる *処方監査と疑義照会 *処方せんに基づく医薬品の調製 *患者・来局者対応、情報提供・教育 *医薬品の供給と管理 *[薬局実習] 安全管理 *[病院実習] 安全管理-医療安全, 安全管理-感染管理
(3)薬物療法の実践	*患者情報の把握 *医薬品情報の収集と評価・活用 *薬物療法の問題点の識別と処方設計及び問題解決 *有効性モニタリングと副作用モニタリング
(4)チーム医療への参画	医療機関におけるチーム医療 地域におけるチーム医療
(5)地域の保健・医療・福祉への参画	在宅(訪問) 医療・介護への参画 地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画 プライマリケア・セルフメディケーションの実践 災害時医療と薬剤師

到達度評価

*青字：評価レベルに基づいて評価

黒字：実務実習記録等で確認した日を入力

<p>(1)薬学臨床の基礎</p>	<p>*臨床の心構え 臨床実習の基礎 →(1),(2),(3)の領域の評価に含まれる</p>
<p>(2)処方せんに基づく調剤</p>	<p>法令・規則等の理解と遵守 ⇒(1),(2),(3)の領域の評価に含まれる</p> <p>* (B) 処方監査と疑義照会 * (A) 処方せんに基づく医薬品の調製 * (C) 患者・来局者対応、情報提供・教育 * (A) 医薬品の供給と管理 *[薬局実習] (B) 安全管理 *[病院実習] 安全管理-医療安全, 安全管理-感染管理</p>
<p>(3)薬物療法の実践</p>	<p>* (C) 患者情報の把握 * (C) (D) 医薬品情報の収集と評価・活用 * (D) 薬物療法の問題点の識別と処方設計及び問題解決 * (D) 有効性モニタリングと副作用モニタリング</p>
<p>(4)チーム医療への参画</p>	<p>医療機関におけるチーム医療 地域におけるチーム医療</p>
<p>(5)地域の保健・医療・福祉への参画</p>	<p>赤字は日本薬剤師会「薬学性実務実習指導の手引き(案)」の分類番号</p>

到達度評価

学生情報			実習施設			
学生氏名	ふりがな	性別	薬局		病院	
薬学 恵	やくがく めぐみ	男	名称		名称	
所属大学名	慶應義塾大学		住所		住所	
学籍番号	12345678		電話		電話	
担当教員名	慶應 花子		担当薬剤師名		担当薬剤師名	

学生プロフィール編集・更新

実習実施計画

実習日誌

振り返りレポート

出欠登録
(スケジュール)

到達度評価

メール・伝言

実習日: 2015年*月*日

【基本仕様】

- 学生 : 自分が記録した評価表のみを編集・閲覧
- 指導薬剤師 : 指導薬剤師が記録した評価表のみを編集・閲覧
- 大学教員 : 学生と指導薬剤師が記録した評価表を合わせて
閲覧のみ

キャンセル

保存

(1) 薬学臨床の基礎

【臨床における心構え】

薬局実習評価（日本薬剤師会案を基に作成）

観点	4	3	2	1	チェックポイント(SBOs)
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を持ち、薬剤師の社会的使命を意識し、責任を果たす。日々の業務を常に省察し、さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行うと共に、後進の指導を行う。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先して、患者の自己決定をサポートする。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先する。日常の学びを振り返り記録し、省察する。医療に従事する者として、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳、他者の人権について、真摯に議論する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
	○月○日	○	○	○	患者・生活者の基本
	○月○日	○	○	○	薬学的管理を実施す
	○月○日	○	○	○	職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)
	○月○日	○	○	○	

チェックポイントとしてSBOsを記載。ただしチェックはしない

病院実習評価（日本病院薬剤師会案を基に作成）

観点	アウトカム	4	3	2	1	チェックポイント(SBOs)
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動をする。医療関係法規を遵守して、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立つ。日常の学びを振り返り記録し、省察する。医療に従事する者として、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳を意識し、他者の人権を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関して知識はあるが、日常のなかで遵守が不十分である。体調管理が出不十分である。	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
	○月○日	○	○	○	○	患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)
	○月○日	○	○	○	○	薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)
	○月○日	○	○	○	○	
	○月○日	○	○	○	○	

日付の欄は増やせるようにする

到達度評価のGUI（学生と指導薬剤師用） 例示

実習日誌	1週間振り返り	出欠登録 (スケジュール)	到達度評価	メール・伝言
------	---------	------------------	-------	--------

検索条件設定

病院実習評価項目一覧から選ぶ 要評価 他実習・日誌で確認

- (1) 薬学臨床の基礎
 - 臨床における心構え—生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任
 - 臨床実習の基礎
- (2) 処方せんに基づく調剤
 - 法令・規則等の理解と遵守[確認日入力]
 - 処方監査と疑義照会
 - 処方せんに基づく医薬品の調製
 - 患者・来局者対応、情報提供・教育
 - 医薬品の供給と管理
 - 安全管理—医療安全
 - 安全管理—感染管理
- (3) 薬物療法の実践
 - 患者情報の把握
 - 医薬品情報の収集と評価・活用
 - 薬物療法の問題点の識別と処方設計及び問題解決
 - 有効性モニタリングと副作用モニタリング
- (4) チーム医療への参画
 - 医療機関におけるチーム医療
 - 地域におけるチーム医療
- (5) 地域の保健・医療・福祉への参画
 - 在宅(訪問)医療・介護への参画
 - 地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画
 - プライマリケア、セルフメディケーションの実践
 - 災害時医療と薬剤師

評価追 評価追

確認日

臨床における心構え	
1	チェックポイント(SBOs)
命の尊厳、他者の人権に いて、真摯に議論する。 剤師としての義務及び法 を遵守する。患者・生活 のプライバシーを保護す	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。 (態度)
○	患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)
	薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 (態度)
	職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)
チェックポイント(SBOs)	
	病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付け て説明できる。
	代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。
	入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態 度)
	急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切 な薬学的管理について説明できる。
	周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。

(4) チーム医療への参画

【医療機関におけるチーム医療】

【医療機関におけるチーム医療】		チェックポイント(SBOs)
実務実習記録による評価		薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。(態度)
評価確認日	○月○日	医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。(知識・態度)
	○月○日	医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。(知識・態度)
	○月○日	医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。(知識・態度)
	○月○日	医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)
		病院内の多様な医療チーム(IGT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。(知識・態度)

日付の欄は増やせるようにする

「実務実習記録による評価」



評価を確認した日時を記入

到達度評価のGUI（学生と指導薬剤師用） 例示

実習日誌	振り返りレポート	出欠登録 (スケジュール)	到達度評価	メール・伝言
------	----------	------------------	-------	--------

検索条件設定

病院実習評価項目一覧から選ぶ ▼

全項目
 未評価項目

検索実行

(1)薬学臨床の基礎 【臨床における心構え】									
観点	4	3	2	1	チェックポイント(SBOs)				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">評価追加</div> 生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を持ち、薬剤師の社会的使命を意識し、責任を果たす。日々の業務を常に省察し、さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行うと共に、後進の指導を行う。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先して、患者の自己決定をサポートする。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先する。日常の学びを振り返り記録し、省察する。医療に従事する者として、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳、他者の人権について、真摯に議論する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度) 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)				
	5月15日			○	薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)				
	6月15日		○		職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)				
【臨床実習の基礎】					チェックポイント(SBOs)				
(1)、(2)、及び(3)の領域の評価に含まれる。					病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度) 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる。 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">確認日追加</div> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">評価確認日</td> <td style="padding: 5px;">5月30日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">6月12日</td> </tr> </table>					評価確認日	5月30日		6月12日	
評価確認日	5月30日								
	6月12日								

到達度評価のGUI（大学教員用） 例示

実習日誌	1週間振り返り	出欠登録 (スケジュール)	到達度評価	メール・伝言
------	---------	------------------	-------	--------

検索条件設定

実習評価項目一覧から選ぶ ■要評価 □実習日誌確認 ▼

- 全項目
○未評価項目

検索実行

(1)薬学臨床の基礎 【臨床における心構え】					
観点	4	3	2	1	チェックポイント(SBOs)
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任 <small>豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を持ち、薬剤師の社会的使命を意識し、責任を果たす。日々の業務を常に省察し、さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行うと共に、後進の指導を行う。</small>	<small>患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先して、患者の自己決定をサポートする。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。</small>	<small>患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先する。日常の学びを振り返り記録し、省察する。医療に従事する者として、自らの体調管理に努める。</small>	<small>生命の尊厳、他者の人権について、真摯に議論する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。</small>	<small>医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)</small> <small>患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)</small>	
				○	<small>薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)</small>
				●	<small>職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)</small>
	5月15日				
	5月30日				
【臨床実習の基礎】					チェックポイント(SBOs)
(1)、(2)、及び(3)の領域の評価に含まれる。					<small>病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。</small>

例えば、学生の自己評価は○、指導薬剤師の評価は●で表示し、入力を区別。上記では、学生は自己評価を5月10日と6月10日に、指導薬剤師は5月30日と7月10日に評価を入力

学生は閲覧不可

実習終了時の評価表

薬剤師入力

〇〇大学 学籍番号 () 氏名 ()
実習態度・実習内容の修得度は、5段階 (5 優れている - 3 普通 - 1 劣る) で評価

1. 実習期間中の実習態度

マナー	
積極性、探究心	
協調性	
医療人となるための心構え	
社会的常識	

◆印刷機能
◆印鑑が必要な大学は押印後郵送
などの対応

2. 実習内容の修得度

	(1) 薬学臨床の基礎	(2) 処方せんに基づく調剤	(3) 薬物療法の実践	(4) チーム医療への参画	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画
医療関連科目の基礎学力					
学習内容の理解度					
実務の処理能力					
実習中の質疑応答能力					
報告書作成能力					

「あるとよい機能」とする

3. 概評

--

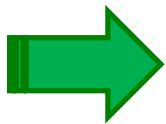
施設名 ()
責任者名 () 印)
指導薬剤師名 () 印)

年 月 日

システム開発状況の確認

1. 2017年7月までに費用の見通し提出を依頼
2. システム案をWEBシステム検討委員会（薬学教育協議会）で確認（認証から変更）
3. 2018年5月（2018年度実務実習第I期）よりシステムを用いたトライアルの開始を依頼
4. トライアルを受けてシステムを改修
5. 2019年2月（2019年度実務実習第I期）より本格運用開始

2017年8月 WEBシステム開発大学、開発企業
を対象に、開発状況、予定費用、薬学教育協議
会の確認予定、トライアルなどについてアン
ケート



アンケートまとめ (2017.8)

	WEBシステム	費用	2018年5月 トライアル
北海道3大学	開発中	無料	しない
新潟薬科大学	開発中	無料	可能
熊本大学	開発終盤	無料	可能 (システムの トライアル)
昭和大学	開発中		5月には無理
富士通	検討中※	検討中	検討中
富士ゼロックス	開発中	各期4,000円※※	可能 (システムの トライアル)

※意思表示が遅れているため、**サイエンステクノロジーシステムズ**が開発
(2017年12月 現在富士通のシステムを使用中の大学に対して説明会)

※※アンケートには、学生1人当たり (病院・薬局) 8,000円で、導入初年度
のみ初期登録費用 (最大50万円) が必要と記載

委員会で折衝 ⇒ 学生1人当たり1期 (病院・薬局) 各4,000円
初期登録費用は無し

※※ 現システムを3,500円で契約している大学もあるが、新システムは
全国一律4,000円

システムの確認について

2017年9月21日、富士ゼロックスシステムサービスが作成した実務実習指導・管理システムを委員会で確認

薬教協発第 17054 号

平成 29 年 9 月 21 日

富士ゼロックスシステムサービス株式会社 御中

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望月 正隆

WEB システム検討委員会

委員長 木津 純子

(押印済み)

薬学実務実習を支援する WEB システムについて(確認)

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は、薬学実務実習を支援する WEB システムの作成にご尽力賜り、誠にありがとうございます。

貴社が作成された WEB システムにつきまして、平成29年9月21日、薬学教育協議会WEB システム検討委員会において、当委員会の要望に合致したシステムであることを確認いたしました。

今後ともより良い実務実習実施のためにご支援賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

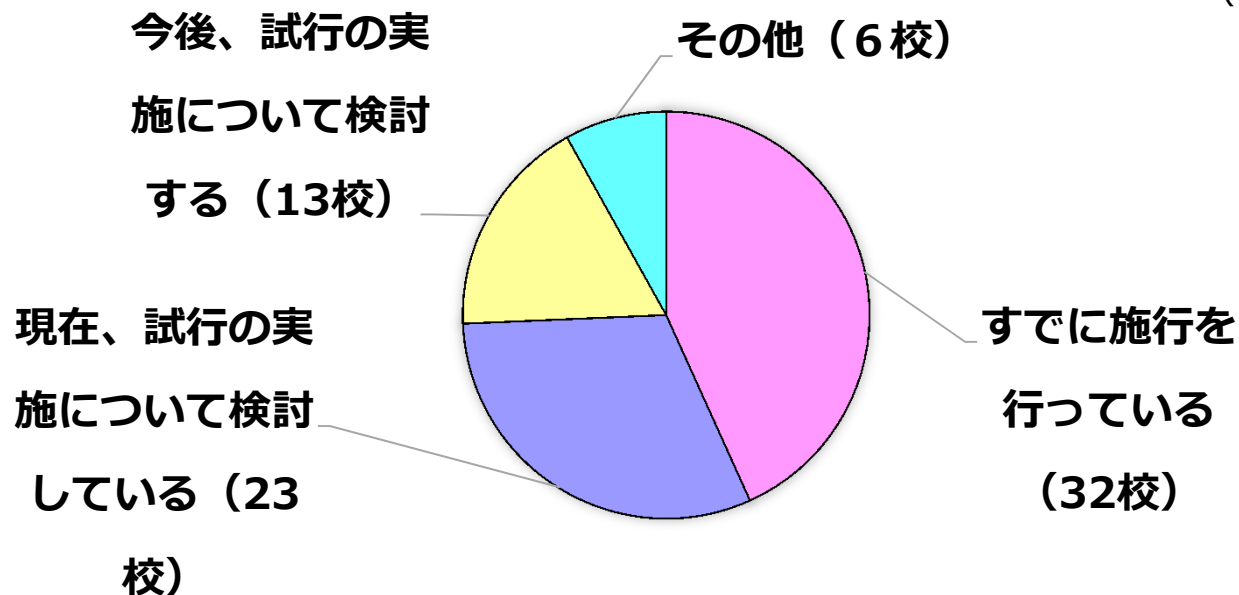
サイエンステクノロジーシステムズ開発の WEBシステム

項目	回答
現在の状況	開発中
予定している費用	学生一人当たり1期（病院あるいは薬局）実習（2700～3000）円（予定）
トライアル	5月には間に合わない
確認	1月25日予定
各大学からの要望	可能な限り受入
WEB検討委員会提示以外の搭載項目	<ul style="list-style-type: none">➤ ユーザー登録機能➤ 実習実施計画書のテンプレートのアップロード機能(全学生ユーザーへの一括適用機能)➤ 日報のSBOs欄を別ウィンドウで表示されたSBOsの一覧から選択する機能➤ 到達度評価画面で評価をする場合に、関連する日報等の別ウィンドウでの表示機能

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに準じた 新薬学実務実習（通称トライアル）：良い実習の先駆け

【具体的な検討状況】

薬学実務実習に関する連絡会議資料
(H29.11.21)



各大学の状況

- 日病薬・日薬の概略評価トライアルを実施
- 8疾患をもれなく実習するトライアルを実施
- 新たな連携方法のトライアルを実施
- 事前学習をループリック評価 など

**2018年度より改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した
新薬学実習を実施**

トライアルの概要（富士ゼロックスより）

期間	2018年5月～7月末（予定）
対象大学	平成31年2月25日から、富士ゼロックスシステムサービス社製 実務実習指導・管理システムを利用予定の大学
ユーザ数	以下のユーザ数を富士ゼロックスにて事前登録 1 大学 学生：10 ユーザ， 教員：5 ユーザ， 薬剤師：5 ユーザ
提供する機能	①日誌/振り返りの登録 ②実務実習計画書の登録と閲覧 ③到達度評価の閲覧と評価登録 ④メッセージ機能 ⑤プロフィール登録 ⑥実習終了時の評価表 ⑦各種帳票出力

トライアルの概要（富士ゼロックスより）

WEBシステムの操作性を確認するトライアル

- トライアル費用は無償
- 流出が危惧される個人情報等は使用しない（セキュリティ監視機器未実装）
- システム利用時間：10:00～19:00(仮)
- 学生・指導薬剤師・教員へのトライアル用説明資料は3月中に配布予定
- システム環境は4月上旬に提供可能
- トライアル用の説明会は予定していない
- トライアル時の情報は他へ開示することを禁止（利用契約書の締結を予定）
- テスト段階のため成果物の保障はできない（一部機能障害が出る可能性）
- トライアル終了後、データ削除

新薬学実務実習（通称トライアル）におけるWEBシステムの利用

- 現在のシステム開発状況において、WEBシステムを用いたトライアルは、あくまでシステムのトライアル
- 新薬学実務実習（トライアル）で、全員に現行のWEBシステムを使用することは不可能

各地区調整機構あるいは各大学でWEBシステムによらない新薬学実務実習（トライアル）の実施方法について検討していただきたい

トライアル後の改修

- トライアル後の改修希望については、各地区調整機構を通してWEBシステム検討委員会（薬学教育協議会事務局宛て）に提出いただく（地区によっては各大学から直接でも可とする）
- WEB検討委員会で意見を調整し、独自でシステムを開発している大学および開発企業に連絡
- ある地区より「施設概要を入れて欲しい」という要望が出され、中央調整機構で検討中

ご清聴ありがとうございました

**実り多い実務実習の実現に
WEBシステムを有効活用ください**